

平成 26 年度 事業報告

自 平成 26 年 4 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日

我が国の経済状況をみると、4月の消費税改正以降もデフレ脱却と経済再生を目指した「アベノミクス」効果が期待された中、個人消費の低迷等による消費税増税の見送り、突然の年末における衆議院解散選挙など、まだ先行き不透明な状況でした。

このような情勢下、当センターでは民間事業所と一般家庭からの受注が減り、年間事業契約は前年度対比 12,809 千円の減額（95.6%）の 278,567 千円で、合併以降目標にしてきた年間契約額 3 億円の達成ができませんでした。

この様に、依然として運営は厳しい状況ではありますが、平成 27 年度は就業態勢の強化、就業開拓・拡大の推進を図っていきます。

会員数については、団塊世代の退職者の入会が見込まれましたが、定年延長、再雇用及び会員の高齢化等により、入会者 53 名に対し退会者 59 名で 6 名減の 493 名となりました。

次に主な事業について報告します。

- 「公益認定基準」の遵守を推進
事務事業の効率化、事務処理の適正化の観点から発注情報を共有化しました。
- 新規就業先の開拓と就業場所の拡大
 - ✓ 県シ連事業で行った就業先の開拓拡大のため市内企業、事業所 113 件を訪問しました。
 - ✓ 顧客訪問は過去取引があり現在発注のない顧客 23 件を理事及び職員にて訪問しました。また、パンフレット等のポスティングを会員の協力を得て、約 700 件実施しました。
 - ✓ 行政と連携し家事援助事業を 8 月から開始しました。
(6 件の受注)

- 就業機会の公平化と就業適正化の推進
 - ✓ ワークシェアリングの会議を4回開催し、年間就業日数が120日以上就業会員を対象にセンターで取り扱う仕事分類17種毎に要因及び課題の分析を行いました。
- 地域社会に貢献する事業の推進
 - ✓ 地域奉仕作業（剪定・草取等）、県シ連主催の「シルバーの日」に特養ホーム3ヶ所の奉仕作業を実施しました。また、会員有志による市役所庁舎及び韮山反射炉への門松設置及びと狩野川河川敷のベンチペンキ塗りの市内での奉仕作業を行いました。
 - ✓ 竹細工同好会が幼稚園において竹細工教室の開催、各種イベントへの参加協力を行いました。
 - ✓ 市主催の「交通安全早朝一斉街頭広報」へ参加しました。
- 安全就業の推進
 - ✓ 本年度の事故発生件数は13件ありました。主に草刈り作業と運転業務です。原因を究明し対策を行いました。また、安全パトロールの強化により、就業事故防止に努めました。
 - ✓ 大仁警察署の交通安全講習会、保険会社による安全就業研修会を開催しました。
- 会員の「技術・技能」向上の推進
 - 県シ連主催の刈払機講習会への受講及び松の剪定・草刈の講習会を開催しました。
- 普及宣伝活動の推進
 - ✓ 「シルバーふれあいまつり」の開催及び市内各種イベントに参加しシルバー事業の内容について普及宣伝に努めました。
 - ✓ 会報「シルバー伊豆の国市」を年2回、ミニ会報を3回の発行及びホームページの充実を図り、会員及び市民への情報発信に努めました。
- 派遣事業の推進
 - ✓ 市役所自動車運転業務等7件の一般派遣契約の締結をすることができました。